

ICT 利活用教育通信

No. 02
令和4年1月20日 発行
佐賀市教育委員会
学校教育課 ICT 利活用教育係
担当：福地

昨年は佐賀市の ICT 利活用教育において、GIGA スクール構想の実現に向けた1人1台端末の整備という大きな節目を迎えた1年でした。令和4年は、これらの ICT 機器を活用した実践を積み重ね、共有していくことで、ICT 利活用教育のさらなる充実を目指していきたいと考えています。

本年もよろしくお願いいたします。

「SKYMENU」の「学習ノート」で友達の考えや気づきを共有

西与賀小で「教育情報化推進リーダー研修」として、2年生体育科の授業「リレー遊び（走の運動遊び）」が公開されました。本時では、「障害物（ミニハードル）があるコースで、どのようにしたら速く走ることができるか」という「問い」に対して、教師と児童が「ハードル間の歩数」を主な視点として共有し、声をかけあい、試行錯誤しながら運動を楽しんでいました。授業の導入部分では、前時の動画を見て、視覚的に本時の「問い」を確認しました。活動の振り返りでは、1人1台端末を活用し、「SKYMENU」の「学習ノート」に記入。「みんなの作品」機能を使って、友達と内容を共有しあいました。記述した履歴も残ることから、これまでの学習の振り返りや評価にも生かされます。



調べたことを「PowerPoint」にまとめて資料提示

巨勢小では、6年生社会科「世界の未来と日本の役割」で、海洋プラスチックごみ問題に対して企業が取り組むべき解決策について「SDGs フォーラム（公開討論会）」という形で授業が展開されました。児童が1人1台端末を活用してインターネットなどで調べたことを根拠に、活発な意見交換を行い、海の豊かさを守るために我が国が果たすべき役割について主体的・多角的に考えることができました。一人一人が調べたことを、PowerPoint にまとめ、電子黒板に提示しながら発言をしていました。次々に発言する場合も、資料を瞬時に電子黒板に提示できるので、45分の授業の中で密度の濃い議論ができていました。この授業の様子は、1月28日に行われます「全国小学校社会科研究協議会研究大会佐賀大会」で発表される予定です。



巨勢小では、児童が端末を持ち運ぶ際に入れる PC バッグを、「プチプチ」で自作されていました。

※プチプチは、正式には『気泡緩衝材』と言うそうです。



おねがい

1人1台端末の故障の中で、AC アダプター端子や差し込み口の欠損が散見されます。児童生徒が充電保管庫から端末を取り出すときに AC アダプターが接続されたまま引っ張ってしまうことが原因の一つだと考えられます。端末を使用する際には、きちんと AC アダプター端子を外して充電保管庫から取り出すように今一度ご指導、ご確認をお願いいたします。